



日置青嵐荘 木製ベンチ・木製プランターの寄贈

昨年度、社会福祉法人 成相山青嵐荘様から、屋外で休憩するための「東屋」の製作依頼とともに、『木製ベンチと木製プランターも一緒に製作してほしい』との依頼がありました。

「木製ベンチ」は、2年生匠コースの生徒がデザイン提案し、2種類のベンチを計8台製作しました。ベンチは、施設内と隣接する日置ふれあい公園に設置される予定です。

「木製プランター」は、建築科3年生の匠コースの生徒がデザイン提案し、5台製作しました。屋外で利用されるということで、遊び心が加味されたレンガ調の模様が施されたデザインとなっています。このプランターは、入居者の方の園芸療法の一環の植育として、土と接する機会を増やし、植物を育て楽しむために利用されるそうです。

10月1日(火)には、地元の日置小学校の5年生と日置保育所の園児も一緒に塗装作業を行いました。また、10月19日(土)には、25周年記念イベントが行われ、その中でベンチとプランターのお披露目をしていただきました。この日は、3年生8名がイベントのボランティアスタッフとしても参加し、施設の方に大変喜んでいただきました。

現在製作中の東屋1棟についても今年度中に寄贈予定です。



国際ソロプチミスト宮津 木製プランターの寄贈

9月25日(水)、建築科3年生6名と製作依頼者である国際ソロプチミスト宮津の3名の方と一緒に吉津こども園に「木製プランター」3脚を寄贈しました。

例年、国際ソロプチミスト宮津から木製品の製作依頼があり、今年度は建築科3年生の6名が、授業等の中で製作しました。男子生徒4名で、プランター本体の組立て、女子生徒2名で「宇宙」や「動物」、「海」をテーマにしたイラストを描きました。

この木製プランターは、植木鉢等の中に入れたり、直接土を入れて植物を育てたりする使い方ができます。中に敷かれた透明アクリル板には、5mm程度の穴が等間隔に空いており、水やりの水が穴から流れる仕組みになっています。

高校生から「園児の皆さんにプランターを大切にもらい、お花などの植物を大事に育ててもらいたいです。」と製作した想いを述べました。



2年 鉄筋組立技能講習～プロの技術を学び、技能検定合格へ～

11月14日(木) 今年度も関西鉄筋協同組合の15名の方々に来校していただき、鉄筋組立の出前授業を行っていただきました。

技能検定3級の課題を通して、鉄筋組立の基本や鉄筋の結束の仕方、技能検定の注意点や合格するためのポイント等について学びました。生徒達は、講師の方々の指導を熱心に聴いて作業に取り組んでいました。

短時間でしたが、丁寧な指導で充実した内容でした。ここでの経験を技能検定合格等に活かしてほしいと思います。



1年 建築と福祉 ～聴覚言語障がいの方の視点からみる建築～

11月11日(月) (一社)京都府建築士会より村松 徹也 様と与謝郡聴覚言語障害センターの高見典子 様に来校していただき、1年生を対象に聴覚障がいやバリアフリーについて講演をしていただきました。



普段私たちが当たり前に過ごしている日常の中にも聴覚障がいの方にとっては不安や不便を感じている場面はたくさんあることを改めて気づかされました。実際に声を出さず口の動きだけで相手に言いたいことを伝える方法を考え、取り組むことで新しい発見がたくさんありました。

建築物を考えると誰もが使いやすく安心できる空間とはどんなものか、考えていく良いきっかけづくりとなりました。

1年 まちあるき ～宮津のまちなみから学ぶ建築～

天橋作事組の方々に協力いただき、宮津の町中を班ごとに観察しながら歩いてみました。

道中、気になる場所や建築物などを写真に撮ったりメモをしながら歩いてみると、普段歩き慣れている道でも意識をすると様々な発見がありました。

近所に住んでいる生徒でも、普段あまり歩かない路地や、今まで気にしたことなかったものが意外とあり、全員が何かしら得られるものがあったと思います。

戻ってからは班ごとに気になった場所や新たな発見について簡単な発表を行いました。歩く道が一本違うだけで、班ごとに特徴を持った興味深い発表が見られました。

建築を学ぶ上で地元宮津の伝統的な町並みはとても良い教材です。毎日通る通学路から建築について学べるという恵まれた環境を、今後の学習に活かしてほしいと思います。



1年生 茶道体験 ～日本の伝統文化と建築を学ぶ～



11月7日(木) 建築科1年生を対象に伝統文化体験事業として旧三上家住宅で茶道体験を行いました。

茶室での振る舞い方や長時間の正座、様々な作法とお茶の点て方まで初めて経験する生徒が多く苦戦しながらもひとつひとつ学びました。先生の立てたお茶をいただいた後に自分でお茶を立ててみると、その違いに驚かされる場面もあり、茶道に興味を持ちはじめた生徒もいる様子でした。

茶道体験と合わせて旧三上家住宅を見学し自由にスケッチを描く時間もとりました。それぞれが気になった場所をよく観察しスケッチをしましたが、描く場所を絞りきれず時間が足りなかった生徒もいました。

地元でも普段あまり足を運ばない場所で貴重な体験をすることができました。なかなかできない体験こそ今後の生活に活かしてほしいと思います。

